

県産酒類を活用した観光復活支援事業について

1 要旨・目的

本年6月定例会で予算補正した本事業について、関係者と調整を進め、概要が固まったので報告する。

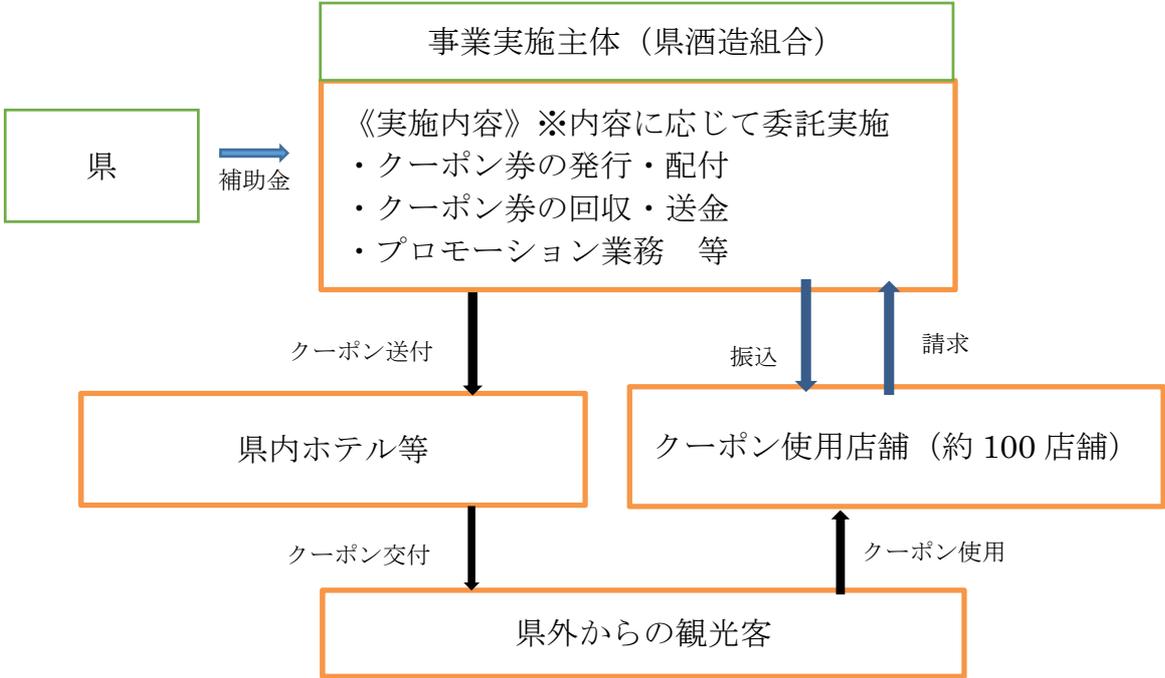
2 現状・背景

- 令和3年の総観光客数は前年比5.7%減の3,966万人となるなど、依然として厳しい状況が続いている。
- 新型コロナや物価高騰等の影響を大きく受けている、県産酒類の販売を促進していく必要がある。

3 概要

(1) 実施スキーム

事業実施主体を県酒造組合とし、補助金として6億6千万円を県から交付して実施



(2) クーポン券の概要

- 名称「飲んでみんなさい！広島酒」クーポン
- 配付枚数：額面2千円（千円券2枚）を30万枚
- 配付開始時期：全国旅行支援やブロック割の再開に併せて実施予定

- 配付期間：開始から2週間程度を想定
- クーポンの使用期限：チェックアウト日まで
※「やっぱ広島じゃ割」と同じ、チェックイン時にお渡し

(3) 利用店舗について

県酒造組合とも調整して、県内100店舗程度を選定

- 県内の主要ゲートウェイ（広島駅、福山駅、広島空港）の店舗
- 県内各地域の道の駅など、県産酒類（日本酒、ワイン、地ビール等）の専用コーナーを設けている店舗 ※各市町にも意見照会を実施
- 県内の各酒蔵、ワイナリーの直売所 等

(4) プロモーションイベント等の実施について

本事業は県産酒類の認知度向上も目的としているため、クーポン利用店舗での店頭告知物（POP）の制作やプロモーションイベント等も併せて実施し、機運の醸成に取り組む。

また、クーポンの利用率を上げるため、2万本相当の「ダブルチャンスキャンペーン※」を併せて実施する。

※クーポン券に印刷されたQRコードから応募してもらい、当選者（2万人）に酒が送付される仕組み。

(5) 予算（国庫）

6億6千万円

<<イメージ図>>

